

「SOGI」とは多様な性的指向や性自認。私たちは毎月の定例会で、院内でのSOGI支援推進のために色々な議論を行っています。

答えが出ないことも多いですが
私たちがどんな検討を
行っているのかを定期的に
ご報告いたします。

今回の議題

相談窓口開設へ

SOGI支援チームは、本学の「高知大学におけるSOGIの多様性に
関する基本方針（令和4年1月27
日制定）」に準拠し、当院内で以
下の目的を達成するために活動
しています。

研修、提言などの活動を通じて
附属病院職員のSOGIへの
理解を深めること

多様な性の在り方を持つ人々が
苦痛なく安心して受診、治療を
行うことができる院内環境
づくりに資すること

当院に
来院された方が
相談しやすい窓口対応を
具体化することにしました。
今回はその取り組みを
紹介します。



※アライ (Ally) とは「同盟」「仲間」「味方」などを意味する英単語。性的少数者にとっての理解者、支援者を意味します。当院では、性的少数者への差別や偏見に与せず、当院が提供する医療サービスを性的少数者に届けるために取り組む者を指します。「アライ養成研修」修了者は名札にアライを示すレインボーのバッジを付けています。

今年5月から開始した「アライ養成研修」。毎月取り組んだ甲斐もあって、修了者が年内には100名を超えます。そろそろ相談窓口の設置を具体化しましょう。



当院を受診する患者さんに、「当院にはSOGIに関する相談窓口があること」「不安なことがあったら相談して良いこと」を伝える必要がありますね。



患者さんは最初に診療申込書を記載することになるので、その記載台にレインボーフラッグを設置します。それ以外にもSOGIに関する掲示物を窓口周辺におくようにしましょう。



当院の受付窓口は仕切りなどもなくて、話していることが周囲に筒抜けになってしまいます。そこでSOGIに関する相談をするのは難しいかもしれません。



相談したいことを声に出さなくても良いように、個別対応を求めるカードと言ったものを記載台に置いておいて、それを窓口を持ってきてもらうのはどうでしょうか。



言いにくいことを窓口で言わずに済む配慮は必要だと思います。それに、そのカードを置いていること自体で、当院が相談対応していることがより伝わりそうですね。



カードの提示後は、別室にご案内して、そこで詳しい事情を伺うようにしましょう。その後のお話しの伺い方にも今後トレーニングが必要ですね。



その後

当院初診時に窓口対応を行なう医事課とSOGI支援チームで協議を行ない、初診患者受付や総合相談窓口にはレインボーフラッグや相談カードの設置を行なっています。

初診患者受付



総合相談窓口



相談内容としては、以下の様な内容を想定して対応を検討していますが、まだ結論が出ていないことも多く、寄せられた相談ごとに、個別に対応を検討していくこととなります。

1.通称名の使用

自身が望む氏名(通称)の使用については対応できておらず、医療保険での氏名を使用させていただきます。ただ、保険者によって医療保険での通称使用が認められている場合は、その通称を使用できます。患者呼出時には、お名前ではなく番号で呼び出すと言った対応を提案します。

2.性別の記載方法

医療保険に登録されている性別(=戸籍上の性別)での登録となります。ただし、それが生物学上の性別と異なる場合の登録については今後も検討を要します。(戸籍上は男性だが卵巣や子宮がある、戸籍上は女性だが精巣があると言った場合が想定されます)

初診受付や総合相談窓口での相談対応を10月からスタートしますが、今後は院内のいろいろな窓口にはライが配置され相談対応できるように取り組んでいきます。

窓口で話にくい事情のある方
このカードを窓口へお持ちください



※プライバシーに配慮し、おうかがいします

相談カード(イメージ)



相談カードを
提示

3.病室の選択

当院は男女両性での病室管理となっています、そこに支障がある場合は、個別に対応を検討します。

編集後記

いよいよ窓口を設置して個別のご相談に対応していくことを決めましたが、相談に来た方に向かっていられないか、かえって傷つけることになってしまわないか、職員も不安でいっぱい。まだ不慣れであること、不十分さがあることをお伝えしつつ、相談に来た方からも色々とお話を聞き、対応を磨いていきたいと考えています。

チームでは、色々な部署からのご相談をお待ちしています。
みんなが過ごしやすい病院になるように一緒に考えていきましょう。

高知大学医学部附属病院 SOGI支援チーム

問い合わせ先 E-mail: sogi-kms@kochi-u.ac.jp